

会 派 代 表 質 問 通 告 書

2026年8月27日

高島市議会議員 河越 安実治 様

会 派 名 (日本共産党高島市議団)
高島市議会議員 13番 森脇徹

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
2. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号2) 発 言 事 項	市民病院の難局打開へ市あげて
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
市長は病院事業決算を議会に提案された。議員も市民患者も8億円を超える経常利益赤字決算と向き合わねばならない事態になった。何よりも、現場スタッフの皆さんに大きな不安を与えている。大元は、公定価格・診療報酬であるが、社会的要因にも左右される。病院事業管理者は、この決算結果を厳しく受け止め、議会の常任委員会に「高島市民病院の概要と経営改善にむけて」とした、財政見通しと経営改善の検討を報告した。 特に、現在検討されている高島市民病院経営改善計画は4万4千人市民の命の砦である市民病院の根幹にもかかわる計画となる性格のものであると同時に、今後に多額の基準外繰り入れを必須とするものであり、病院事業管理者として、この難局をどう乗り越えていくのか、次に問うものである。	

- ① 市民病院事業の令和 7 年度決算は 8 億円を超える純損失であった。その主な要因とともに、昨今の経営状況をどのように受け止め、対応しているか。
- ② 全国の公立病院の 9 割が赤字とした非常事態にもなっており、厚労省の通年の公定価格見直しでは経営改善のめどは困難だ。市民病院決算では経常費用の給与比率が 83% である現実、診療報酬の抜本改善しかない。全国自治体病院協議会がこの夏に厚労省へ「診療報酬の中間年改定含む必要な財政措置を」とした緊急要望をしたが、同趣旨の要望行動を市長会等に提起し、市長と管理者の強い国への要請が求められると考えるがどうか。
- ③ 市一般会計から病院事業への繰り出し財政措置だが、市の長期財政計画には基準外繰り出し方針の記載はあるが、具体額面は表示がない。現在は新報酬見直し後の調査で見通せるというが、如何ほどの見通しか。
- ④ いま全国の病院が経営危機に陥っている中であっても、市民病院は市民患者にとって最後の砦として、健全に機能しなければならない。こうした情勢下、国や県で新たな地域医療構想が見直しの最中であるが、これによって本市の医療現場と市民医療にどのような影響が生じると考えているのか。